



## 思い出すままに……

～「ボランティア まちの輪 人の輪 心の輪」(本会募集標語)～

松江市ボランティア連絡協議会

元会長 吉 長 義 親

設立30周年記念誌の発刊のお祝いを申し上げます。平成19年春のことでした。既に創立20周年を経て、本会の社会的認知度は上がっていたけれど、社会情勢等の変化によりあるべき姿の変革の要請も出現していた時に会長をお受けしました。

人々の連帯意識や相互扶助機能の低下、社会的弱者への思いやりの心の喪失等の世相が見られ、21世紀はボランティアの時代と呼ばれていた時でした。本会の果たすべき役割は大きなものがあると自覚し、種々の課題を浮き彫りにし、逐次解決に努めました。在任4年間で振り返ります。

### (1) 組織体制と運営の在り方の見直しを図る

- 会議の設定を意図的・計画的に行う～思いつきでなく展望をもつために
- 専門委員会の活動の充実と事務局体制の確立に努める～企画の充実 自立的な運営を
- 団体ボックスを活用する～綿密な報告と連絡により情報の共有を図る

### (2) ネットワークを広げ、組織内容の多様化に努める

- ボランティアセンターや社会福祉協議会との連携
- 企業ボランティア松江ネットワーク会議・松江地域振興予算ゼロ課との連携
- 市民活動センター・城西公民館との連携
- 松江地区外のボランティア団体等との連携

### (3) 参加団体(会員)の増強に努める～115団体の加入となった

- 合併した旧八東地区のボランティア団体への呼びかけと参加
- 広報啓発活動の充実

### (4) 年度ごとに特性を持ったイベント(フェスティバル)を開催する

- サブテーマの設定～焦点化した内容に努めた
- 子どもや若者の参加依頼～未来への布石 賑わいの創出に心がけた
- 外部団体の参加による啓発と盛り上げ～多彩なプログラムを展開した

### (5) 大きな大会等の主催・共催を受け止める～意識・活動の深化・拡充のために

- 第11回全国ボランティア学習研究フォーラム島根県大会
- こころを育む全国フォーラム IN 松江

### (6) 相互の研修に努める

- 団体交流研修会の開催・充実

このような活動により、松江市民のボランティア意識の高揚。誰でも、いつでもボランティア

活動に参加できる受け皿として役立つことができたのは、事務局長として八面六臂の活躍をし、リードしていただいた山本寿子松江市ボランティアセンター所長の力と、役員的一致団結のお蔭。そして、会員が「人と人がつながってこそこの本会であり、人間性回復の活動を旨としている」ことを自覚し、心をひとつにして活動いただいた結果です。有り難いことでした。

記念誌の発刊は、活動の振り返りにより以後の充実した展開を図る大きな手段と考えます。今後益々のご発展をお祈りいたします。

詩 「喜んで与える人間になろう」

物があれば物を 力があれば力を  
知識があれば知識を みんなに与えよう  
なければ 自分の中に 育てて与えよう  
花は 美しさを惜しまず  
小鳥は 楽しい歌を惜しまない  
誰にでも 与えている  
与える時 人は豊かになり  
惜しむ時 いのちは貧しくなる  
喜んで与える人間になろう

